

平成 28 年北秋田市議会 6 月定例会行政報告

北秋田市議会 6 月定例会が開催されるにあたり、3 月 8 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

平成 28 年度職員採用試験は、大学卒一般行政、保健師、建築士及び土木技師について 6 月 8 日から 6 月 28 日まで受験申込みを受け付けします。第 1 次試験は 7 月 24 日に秋田県市町村会館で実施されます。高校卒一般行政及び消防吏員の試験についても、順次行ってまいります。

3 月 28 日、北秋田警察署と「北秋田市警察情報の住民提供等に関する協定」を締結しております。この協定は、防災広報無線を利用した警察情報の住民提供等について必要な事項を定め、被害の発生、拡大防止及び地域安全活動の推進を図り、安全で安心なまちづくりを推進することを目的としています。

5 月 26 日、消防本部と合同で北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」を会場に、大規模地震を想定した防災訓練を実施いたしました。近隣自治会住民、コムコム利用者、職員等による避難訓練、通報訓練、避難場所開設訓練や、市民主体による応急救護・救急救助訓練、災害対策本部による被害情報の収集、伝達、対応訓練、消防による高所救出、火災想定訓練等が行われ、災害時における適切な避難、応急活動についての役割や動きを確認しました。

また、防災対策については、平成 22 年 3 月に洪水・土砂災害ハザードマップを作成しておりますが、この度、災害対策基本法の改正により見直しを行った避難所や新たに指定された土砂災害警戒区域などを示した「北秋田市防災マップ」を、広報きたあきた 6 月号とともに全戸配布いたしました。この防災マップは、日頃の備えや緊急時の対応等についても分かりやすく整理しておりますので、市民一人ひとりの防災知識の普及・啓発に向け、積極的な活用を促してまいります。

<総合政策課関係>

将来の路線バスをはじめとする地域公共交通網のあり方を協議するため、平成 28 年度第 1 回地域公共交通活性化協議会を 4 月 15 日に開催し、地域公共交通網形成計画の策定など今年度の事業

計画及び予算が承認されました。

首都圏在住の森吉地区出身者等で組織する「森吉会」の会員 13 名がふるさと視察団として訪れ、森吉地区自治会長会や森吉地区婦人会の役員の方々等の参加による「森吉会 地元有識者との懇談会」を 5 月 14 日に開催し、市が今年度取り組む「移住定住」に関する事業をはじめ様々な意見が交わされました。

5 月 29 日、「東京圏あに会」の第 30 回総会・懇親会が都内で開催され、200 名を超える参加者のもと、節目となる東京圏あに会の 30 年にわたる活動を称え、今後のさらなる飛躍を誓い合いました。

<内陸線再生支援室関係>

秋田内陸縦貫鉄道の平成 27 年度の収支見通しは、経営損失額 2 億円以内とする目標を達成する状況となっております。定期外人員全体では減少したものの、団体客やインバウンドでは増加しており、また、通勤、通学も昨年より増加したことにより、目標を上回りました。

昨年は、地方創生交付金を活用した秋田内陸線乗車促進事業などで、国内団体客も増加しました。海外からの乗客については、台湾を中心に増加傾向が続いており、沿線観光の P R やイベント、企画列車など増客に努め、引き続き目標が達成できるように取り組みを強化してまいります。

また、今年で 5 回目となる秋田内陸線のりものまつりが、5 月 21 日 22 日の 2 日間、阿仁合駅周辺を会場に開催されました。好天にも恵まれ、市内外のお子様連れのご家族など、両日で約 4,800 人の来場者を数え、盛会裏に終了いたしました。

財 務 部

<財政課関係>

平成 28 年 2 月 1 日から平成 28 年 4 月 30 日までの工事等発注状況（500 万円以上）は、下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表			
※500 万円以上（消費税含む）			
平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日			
工事名または業務名等	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
北秋田市防災マップ印刷製本業務	H28. 3. 1	5,508	(株)ゼンリン 秋田営業所

総務部 1件		5,508	
住民情報系システム使用料	H28. 4. 1	15,496	(株)アイシーエス 秋田支店
光ファイバ通信網設備保守	H28. 4. 1	6,945	東日本電信電話(株)ビジネス & オフィス営業推進本部秋 田法人営業部門
住民情報系システム更新委託	H28. 4. 1	30,378	(株)アイシーエス 秋田支店
内部情報系ソフト保守委託	H28. 4. 1	8,241	(株)アイシーエス 秋田支店
住民情報系システム運用保守委託	H28. 4. 1	7,733	(株)アイシーエス 秋田支店
財務部 5件		68,793	
北秋田市クリーンセンターエネルギー 一回回収推進施設建設工事技術支援業 務	H28. 4. 12	6,329	公益社団法人全国都市清掃 会議
資源ごみ等引取・処理委託(28.6月～ 29.3月)	H28. 4. 27	9,979	(株)エコリサイクル
市民生活部 2件		16,308	
北秋田市地域子育て支援センター業 務委託	H28. 4. 1	8,000	社会福祉法人県北報公会
北秋田市地域子育て支援センター業 務委託	H28. 4. 1	8,000	社会福祉法人鷹巣地の塩会
北秋田市立児童館管理運営業務	H28. 4. 1	25,128	社会福祉法人北秋田市社会 福祉協議会
子育てサポートハウス管理運営業務	H28. 4. 1	15,505	社会福祉法人北秋田市社会 福祉協議会
生活困窮者自立支援事業	H28. 4. 1	14,000	社会福祉法人北秋田市社会 福祉協議会
健康福祉部 5件		70,633	
河川災害復旧工事(準用河川 糠沢 川)	H28. 2. 1	8,640	(株)大川建設

排水維持工事(その他市道 李岱鍛町線)	H28. 2. 1	7,268	(有)喜組
河川維持工事(準用河川 田ノ沢川)	H28. 2. 2	8,100	(有)宗和
舗装維持工事(その他市道 中新田横澗線)	H28. 3. 10	7,776	秋田土建(株)
橋梁補修工事(伏影橋)	H28. 3. 10	44,280	秋田土建(株)
歩行空間整備工事(1級市道 米代町線)	H28. 3. 24	120,420	(株)芳賀工務店
橋梁補修工事(牛滝橋)	H28. 3. 29	38,880	秋田土建(株)
阿仁地区水道施設維持管理業務委託	H28. 4. 1	5,530	(有)ヤマグチ
浄化センター維持管理業務委託(4月分)	H28. 4. 1	5,076	山岡工業(株)
阿仁地区小型合併浄化槽維持管理業務委託	H28. 4. 1	15,854	(有)鷹阿二清掃興業
平成28年度 防災・安全交付金 北秋田市 道路トンネル定期点検業務委託	H28. 4. 25	9,126	市町村橋梁等長寿命化連絡協議会
浄化センター維持管理業務委託(5月～3月分)	H28. 4. 26	68,580	山岡工業(株)
森吉地区農業集落排水処理施設維持管理業務委託	H28. 4. 26	5,200	(株)二幸協同黄金社
合川地区農業集落排水処理施設維持管理業務委託(I型)	H28. 4. 26	5,616	(有)宗和
合川地区農業集落排水処理施設維持管理業務委託(III型)	H28. 4. 26	6,588	(有)宗和
建設部 15件		356,934	
消防本部高機能指令センター設備保守業務	H28. 4. 1	6,480	(株)富士通ゼネラル 東北情報通信ネットワーク営業部
消防本部消防救急デジタル無線設備保守業務	H28. 4. 1	9,990	(株)富士通ゼネラル 東北情報通信ネットワーク営業部

消防本部 2件		16,470	
北秋田市立学校スクールタクシー運行業務委託	H28. 4. 1	5,801	秋田県ハイヤー協会 北秋支部
北秋田市放課後児童クラブ運営管理業務	H28. 4. 1	34,192	社会福祉法人北秋田市社会福祉協議会
教育委員会事務局 2件		39,993	
合計 32件		574,639	

平成28年度の地籍調査事業については、鷹巣字上家下、帰道、愛宕下の3地区を対象地区として実施します。実施に向けた対象地区住民への説明会を5月25日から27日の3日間開催しております。

<税務課関係>

平成28年度の軽自動車税と純固定資産税の当初調定額及び4月末現在の平成27年度分の市税等の収納状況については、次のとおりとなっております。

区 分	調 定 額		
	平成28年度現年課税分	平成27年度現年課税分	前年比
軽自動車税	88,423,500円	78,802,600円	112.21%
純固定資産税	1,528,256,600円	1,497,635,300円	102.04%

区 分	課税台数と納税義務者数		
	平成28年度現年課税分	平成27年度現年課税分	対前年
軽自動車税	16,389台	16,420台	△31台
純固定資産税	16,343人	16,469人	△126人

平成27年度分の収納状況（4月末現在）

税 目		調 定 額 (円)	収入済額 (円)	収納率 (%)	前年同 (%)
個人市民税	現	933,365,140	922,149,255	98.80	98.61
	滞	52,226,704	10,299,129	19.72	21.82
法人市民税	現	160,573,500	159,291,900	99.20	98.99
	滞	5,493,400	613,300	11.16	22.57

純固定資産税	現	1,469,097,600	1,430,206,931	97.35	96.86
	滞	151,936,832	27,989,165	18.42	16.29
交 付 金		71,170,200	71,170,200	100.00	100.00
軽自動車税	現	77,826,000	76,338,800	98.09	97.74
	滞	4,982,108	1,264,342	25.38	15.97
市たばこ税		231,945,204	231,945,204	100.00	100.00
入 湯 税		3,320,250	3,320,250	100.00	100.00
国民健康保険税	現	513,814,600	480,616,800	93.54	93.04
	滞	152,736,114	24,511,357	16.05	16.80
合 計		3,828,487,652	3,439,716,633	89.85	89.38

市民生活部

<生活課関係>

春のクリーンアップ運動が、4月17日の早朝に全市一斉で行われ、約5,700人の市民が参加しました。

平成28年度北秋田市廃棄物不法投棄監視委員会を4月18日に開催し、監視員24名への委嘱状の交付と、平成28年度の活動について確認しました。

クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設建設工事の起工式が4月15日に行われ、平成30年4月の稼働に向けて工事の安全を祈願しました。

クリーンリサイクルセンターへの平成27年度ごみの搬入量は11,284トンで、一人1日当たりでは910g、前年度比0.12%の増加となっております。内訳は、可燃物が9,483トンで前年度比0.56%の増加、不燃物が489トンで前年比3.78%の増加、リサイクル品7品目が546トンで前年度比3.50%の減少、古紙類が766トンで前年度比4.57%の減少となっています。

春の全国交通安全運動が、4月6日から15日までの10日間実施されました。運動初日には、北欧の杜公園において北秋田地区総決起集会在開催され、交通事故防止の決意を新たにしました。

消費者行政については、4月1日から消費生活相談窓口を消費生活センターとし、消費者トラブルの防止に努めています。また、5月18日には、消費者庁の定めによる消費者月間に合わせ、鷹巣地区のショッピングセンター前において、消費者が詐欺等の被害に遭わないよう啓発を行うとともに、相談窓口の周知徹底を図るための街頭キャンペーンを実施しました。

山岳遭難の発生防止と事故発生時の対応を確認するため、5月20日に北秋田市遭難対策会議を開催しました。また、5月28日早朝には、森吉山ダム広報館前において、遭難防止啓発活動を実施しました。

<市民課関係>

平成28年4月末現在の住民登録者数は33,849人（内外国人145人）で、その内訳は、男15,787人（同14人）、女18,062人（同131人）、世帯数は14,240世帯（内外国人を含む世帯140世帯）となっております。個人番号カードについては、4月30日現在で交付（作成）申請枚数が2,221枚となっております。地方公共団体情報システム機構（J-LIS）から市に順次送付されており、4月30日現在の交付枚数は1,286枚となっております。また、通知カードについては、受け渡しできずに市が保管している件数が、5月20日現在で184件となっております。

国民健康保険については、平成28年3月末現在の加入世帯数は5,308世帯で、被保険者数は8,232人（内、一般被保険者数7,691人、退職被保険者数541人）で、その内、前期高齢者は4,208人となっております。

後期高齢者医療制度の、平成28年3月末現在の被保険者数は8,004人で、その内、若年障害者認定数は214人となっております。

健康福祉部

<福祉課関係>

「北秋田市立鷹巣東保育園」については、4月1日より「秋田県民生協会」へ移管し、「鷹巣東保育園」として運営を始めています。

平成28年度の保育所入所は、4月1日現在、公立保育園293名、私立保育園528名の合計821名となっております。

「ひとり親家庭就学祝金」については、小学校及び中学校への入学時の経済支援として、本年度は小学生25人、中学生39人の児童生徒に交付いたしました。

賃金引き上げの恩恵が及びにくい高齢者のための一時金である「年金生活者等支援臨時福祉給付金」については、4月18日に対象となる5,042世帯（対象者6,295人）に通知及び申請書を送付し、5月20日現在、2,812人に支給しています。

4月1日より厚生労働省委託事業として、障がいのある方々が身近な地域で安心して職業生活を送れるよう、就業及び生活上のサポートを総合的に行う北秋田障がい者就業・生活支援センターが開設しました。

<高齢福祉課関係>

高齢者在宅福祉サービスの平成 27 年度実績については、高齢者障害者等外出支援サービス登録者数が 296 人（前年度 295 人）で、延べ利用回数は 3,701 回となっています。食の自立支援は、登録者数が 257 人（前年度 300 人）で、延べ 32,192 食を提供し、また、家族介護慰労金支給については、189 人（前年度 177 人）の方へ慰労金を支給し在宅での介護を支援しております。福祉の雪事業については、登録世帯数は 912 世帯（前年度 1,006 世帯）、延べ利用回数は 6,463 回（前年度 10,493 回）、利用世帯への扶助費は 5,515 千円（前年度 19,929 千円）となり、近年まれにみる暖冬の影響により大幅な減少となりました。

介護保険については、4 月末現在の要支援・要介護認定者数が 2,841 人（前年度 2,854 人）となっており、その内、サービス受給者が 2,475 人（前年度 2,377 人）で、認定者数に対する受給率は 87.12%（前年度 83.29%）、昨年同期と比較すると認定者数は 13 人減少（昨年度 38 人増）、サービス受給者は 98 人（昨年度 5 人）の増加となっております。

介護保険料については、年金からの天引きによる方で、仮徴収額と本徴収額が大きく異なると想定される方については、できるだけ均等になるよう仮徴収額を変更し平準化を図っております。該当する方には 4 月に変更通知を送付し、本徴収額は前年度所得や同居世帯家族の課税状況が確定した後に通知いたします。

地域包括支援センターの平成 27 年度の包括的支援事業における総合相談件数は、延べ 1,096 件（来所 228 件・電話 452 件・訪問 416 件）となっており、その内、権利擁護に関する相談は 55 件となっております。

地域支援事業における介護予防事業については、65 歳以上の方を対象とした一般介護予防事業への延べ参加者数は、運動教室 1,361 人、栄養教室 48 人、出前介護予防講座 122 人、訪問型運動指導は 50 人、地域介護予防事業は 315 人となっております。今後も積極的な介護予防事業に取り組んでまいります。

<医療健康課関係>

保健事業全般の普及啓発として、「健康ガイド」保存版を市広報 4 月号と共に毎戸配布しております。

成人健診事業については、各地域巡回型の集団健診が 4 月 14 日より開始となり、森吉・合川・阿仁地区が終了し、鷹巣地区は 7 月 2 日までの予定で行っております。より若い世代から健康に関心を持っていただくため、20 歳から 39 歳までの方を対象に心電図検査・貧血検査等も含めた「さわやか健康診査」を昨年度に引き続き実施しております。また、40・50・60 歳を迎える方には、特定健診項目に心電図検査・眼底検査・貧血検査を加えて実施しております。

胃がん検診については、4 月 20 日より開始され、森吉・合川・阿仁地区が終了し、鷹巣地区は 7 月 4 日までの予定で行っております。胃がん検診、大腸がん検診の全額補助対象者へは、年度当初にクーポン券に変わるご案内を検診受診票にセットして配布しております。

女性の検診（子宮頸がん・婦人科超音波検診、乳がん検診、骨粗しょう症検診）については、4月21日から開始し、森吉・合川・阿仁地区が終了し、鷹巣地区は7月25日までの予定で行っております。

母子保健事業については、不妊症・不育症治療費助成（幸せファミリーサポート事業）を継続実施しております。

また、今年度第1回目の保健センター運営委員会を5月25日に開催し、委員15名に委嘱状を交付しております。

第1回北秋田市民病院運営連絡協議会は5月27日に開催され、市民からの要望等への対応や指定管理内容の改善に伴う検討事項の協議のほか、今後の取り組み方針等の報告がされております。今後も厚生連との連携を強化し、諸課題に対応することを確認しております。

北秋田市地域医療連携センター運営協議会事業については、医療・介護福祉の連携強化を目的に作成した「医療・介護資源ガイドブック」の内容を更新し関係事業所への配布を行うとともに、地域包括ケアシステム構築に向けた、医療介護資源の周知、協力連携推進のために、新たに住民向けにサービス窓口の紹介などを加えた「医療と介護のハンドブック」を作成し、全戸配布しました。

今後も地域の医療・在宅ケアの充実のため、全体会や研修会、ワークショップ等を実施し、課題への共通認識づくり、多職種連携による問題解決を図ってまいります。

<診療所関係>

2月から4月までの市立3診療所の外来患者数については、阿仁診療所では、内科2,356人で前年同期対比299人（14.5%）の増、外科2,772人で前年同期対比125人（4.3%）の減、歯科907人で前年同期対比39人（4.1%）の減となっております。次に、合川診療所では2,834人で、前年同期対比128人（4.3%）の減となっております。次に、米内沢診療所では、内科3,898人で前年同期対比45人（1.2%）の増、小児科403人で前年同期対比90人（28.8%）の増、整形外科894人で前年同期対比114人（11.3%）の減、脳血管外科249人で前年同期対比15人（6.4%）の増、心臓血管外科39人で前年同期対比26人（40%）の減となっております。

今後も、地域住民の医療と健康を守るため安定した診療所運営を心がけてまいります。

産業部

<農林課>

稲作については、春作業が平年並みとなり、田植え作業についても、平年並みで最盛期となりました。今後はJAを始めとする農業指導関係機関との連携を密にして、水管理等の適正指導を啓発して参ります。

4月17日に発生した強風による被害については、育苗ハウスや比内地鶏用ハウスの倒壊や被覆ビニールの損傷など、82件、約18,000千円の被害がありました。被害を受けた皆様にお見舞い申し上げます。

道の駅「たかのす」地内に設置する農産物等直売所の建設工事については、平成28年3月に完成、引渡しを受けており、4月からは指定管理者であるJA鷹巣町により7月のオープンに向けて準備がなされております。

今年の牧場運営については、5月2日に42頭が鷹巣牧場に入牧しました。鷹巣牧場は草地改良工事の終了後、播種した牧草の養生期間の1年間が経過したため、本年から全牧区が使用可能となりました。引き続き、夏山冬里方式による低コストで健康な肉用牛の生産に向け、安全で安心できる肉用牛生産に貢献できるよう努めるとともに、農家の生産活動の維持促進を図り経営の安定に努めてまいります。

土地改良事業関係については、県営のほ場整備事業が新規2地区を含む5地区、用排水施設整備事業1地区が事業実施されております。

林道改良事業については、2か所の設計業務委託を発注しております。また、融雪による林道への落石及び倒木が多数あり、地域の協力を得ながら通行の確保に努めております。

鳥獣被害対策については、昨年と比較し熊の目撃情報が多いことから、鷹巣地区1件、森吉地区1件の合計2件（5月20日現在）の熊の捕獲許可を申請し、農林作物の被害拡大及び人的被害の未然防止に努めており、引き続き、北秋田地域振興局、警察、猟友会等と連携を密にし、市民の安全確保を図ってまいります。

<商工観光課関係>

特産品事業については、4月28日森吉山麓村興し会主催による『第5回BM（バター餅）－1グランプリ』がクウインス森吉で開催され、市内の11の団体・個人から個性あふれる18種類のバター餅が出品されました。

5月21日には、秋田大学において地域交流朝市が開催され、秋田大学と関連がある県内7市町村が参加し、地域の特産品販売を通して交流を深めました。

観光振興については、4月1日に北秋田市、大館市、小坂町の2市1町で広域観光ルートの拠点づくりのため、地域連携DMO（観光地域づくり組織）一般社団法人「秋田犬ツーリズム」が発足しました。

今年度から市の直営施設として運営する、マタギの里熊牧場（くまくま園）が4月23日にオープンしました。オープン当日やゴールデンウィーク期間中は、今年誕生した子熊とのふれあいや、ひぐまのえさ隠しなど開園イベントを企画し、来園者を迎えました。また、ゴールデンウィーク期間中には、休止していた遊遊ガーデンにおいて、3日間限定で釣り体験を実施したところ、以前を懐かしむ声や親子で楽しむ姿など、賑わいを見せておりました。

4月29日には、「桜を見る会」が開催されました。今年は悪天候のため急遽、会場を中央公民館へ移動しての開催となりました。

5月3日には、恒例の「森吉山山開き」が開催され、真夏のような天候の中、事前申込者と当日参加の約100名の方が森吉神社を目指して登山し、今年1年の安全祈願をしました。

建設部

<都市計画課関係>

「北秋田市定住促進基本方針」に基づき「空き家バンク制度」及び「移住者住宅支援事業」を実施しており、空き家バンクについては、平成28年4月1日現在で、5件の登録があり、1件の契約が成立しております。

住宅リフォーム支援事業については、4月末現在で補助金交付決定数42件、交付決定額5,676千円となっており、そのうち今年度から新設した多子世帯に対する補助については、交付決定数2件、交付決定額399千円となっております。

<建設課関係>

道路工事関係については、排水維持工事1件（坊沢～前山線）が完成、舗装維持工事2件（元町～東上綱線、横町～伊勢町線）を発注、道路新設改良工事2件（米代町線歩行空間整備工事、綴子～小田線）を発注、河川維持工事1件（小摩当川）が完成しております。

社会資本整備交付金事業については、橋梁補修詳細設計業務委託3件（仙戸石橋、沢口2号橋、鉄道交差橋）、トンネル点検業務委託1件（小様、雪田沢トンネル）、橋梁補修工事2件（伏影橋、牛滝橋）を発注しております。

冬期間、通行止めとしていた大印ノロ川線は、4月22日に通行止めを解除しております。

<上下水道課関係>

簡易水道事業については、森吉・合川地区統合簡易水道施設整備事業に係わる三木田増圧ポンプ場建設他工事と大野岱配水場改良工事及び補助金申請・実績報告業務委託を発注しております。

また、県道矢坂糠沢線改良工事に伴う補償事業として、綴子簡水配水管移設工事（その1）を発注しております。

公共下水道事業については、鷹巣処理区の綴子字田中表の一部、脇神字高村岱の一部、泉屋敷の一部、赤川岱の一部、米ノ岱の一部 8.4ha が4月1日に供用開始となりました。鷹巣処理区の供用区域面積は、357.2haになります。

工事については、鷹巣処理区において脇神字堂ヶ岱地内と鷹巣字平崎上岱地内で面整備工事2件を発注しております。

消防本部

<常備消防関係>

平成28年2月12日から平成28年5月22日までの火災、救急救助等については、建物火災が7件（焼損棟数12）、その他火災（原野）が3件となっております。

救急出場件数は410件で、種別では急病287件、一般負傷42件、交通事故23件、となっております。ドクターヘリは6件の出場要請をしており、4人の傷病者を搬送しております。救助出場は15件で19人を救出しております。

また、管内における山岳捜索救助出場はこれまで6件発生しており、死亡発見1名、生存発見6名となっております。

訓練については、5月18日上小阿仁村小沢田地内（ふるさと公園）において、当消防本部救助隊と秋田県消防防災航空隊とが合同で、手信号・航空隊資機材取扱訓練・要救助者引継訓練など、安全かつ迅速な連携体制の確立を目的とした合同訓練を実施しております。

火災予防対策として、空気が乾燥する時期を踏まえ、枯草焼きや屋外でのごみ焼きによる火災の発生防止のため、巡回広報を強化しております。

春の火災予防運動期間中（4月3日から9日まで）、鷹巣地区の大型店において火災予防啓発チラシの配布や消防車両の展示、市立阿仁合保育園、大阿仁保育園の両園児が作成した防火塗り絵を市立阿仁診療所へ展示するなど、防火思想の普及及び火災予防の啓発活動を行いました。また、危険物施設及び防火対象物の予防査察を行い、違反の是正指導を行いました。

職員研修については、救急救命士養成のため昨年度救急救命東京中央研修所（八王子市）で2名が6か月間の研修を修了し国家試験に合格しております。

消防ポンプ車の更新については、平成 28 年 2 月 4 日、本署 1 号車を更新し 4 月 1 日から緊急消防援助隊に登録しております。

<非常備消防関係>

消防団は、4 月 1 日から鷹巣地区を 10 分団から 5 分団に、合川地区は 5 分団から 3 分団に、森吉地区は 7 分団から 2 分団に、阿仁地区は 5 分団から 2 分団に、女性消防団は 2 分団から 1 分団と、29 分団から 13 分団に統合再編されました。

春の火災予防運動初日の 4 月 3 日に、分団ごとに全車両及び小型ポンプの機械器具点検を実施し、運動期間中は火災予防巡回とともに、ショッピングセンターや戸別訪問により住宅用火災警報器設置推進のチラシを配布しました。

教育委員会

<総務課関係>

平成 28 年度から本市が事業主体となって運営しております「あきたリフレッシュ学園」は 4 月 11 日に 4 名の入園者でスタートしました。活動は昨年度までと全く変わらない内容で運営しております。また、今年度から新たに始まりました教育留学事業へは多くの問い合わせがあり、5 月 20 日時点で 26 件の問い合わせがありました。その内、1 名が 5 月 30 日から合川中学校へ通学しております。

<学校教育課関係>

平成 28 年度の小・中学校入学式が行われ、小学校 194 名、中学校 222 名の児童・生徒が新たな学校の門をくぐりました。

5 月 1 日現在の児童生徒数は、小学校 1,234 名（10 校）、中学校 654 名（5 校）で、学級数は小学校が 78、中学校が 35 となっています。

鷹巣小学校と鷹巣西小学校が統合し、鷹巣小学校は児童数 371 名の学校としてスタートしました。

市内小・中学校に関する調査研究と教職員の研修を推進する北秋田市教育センターの所員総会が 4 月 28 日に行われ、新たな顔ぶれにより今年度の活動がスタートしました。

各小・中学校の運動会・体育大会は 5 月 1 日を皮切りに行われ、家族や地域の方々の声援を受けながら、元気いっぱい躍動する子どもたちの姿が見られました。

4 月 19 日には、全国学力・学習状況調査が行われ、小学校 6 年生と中学校 3 年生が日頃の学習の成果を試す問題に挑みました。

<生涯学習課関係>

北秋田市民ふれあいプラザ建設事業については、3月25日に竣工し、4月30日にオープンしました。4月30日5月1日の2日間、オープン記念事業としてテープカットや記念式典、ステージイベント、屋台村等を行い、市内外から延べ1万人を超える幅広い年代層の方々が来館しました。

生涯学習の推進について、今年度の高齢者大学は、高鷹大学202人、合川ことぶき大学74人、森吉大学76人、阿仁生き生き大学52人で計404人の受講生が入学・開講式を終え、今年度の学習活動がスタートしました。

定期講座では、市民ふれあいプラザ8講座、合川公民館6講座、森吉公民館4講座、阿仁公民館4講座、鷹巣6地区公民館12講座、前田公民館1講座、大阿仁公民館2講座で計37の定期講座を開設し、市民の皆さんへの学習の場を提供しております。

また、地域全体で学校教育の支援を行う『学校支援地域本部事業』は、市内全校（補助事業校6校・単独実施校9校）で実施しております。

放課後児童クラブ事業については、共働き世帯などの児童の健全育成、子育てと仕事の両立支援のため、放課後子ども教室と連携を図りながら市内11か所で571人の学童保育を実施しております。

公民館事業については、「第41回誕生の森記念植樹」が5月15日に李岱の合川児童クラブ周辺で行われ、平成27年度中に合川地区で誕生した22人のうち17人の子どもとその家族が参加して、子どもの成長を祈ってあじさいの苗を植樹しました。

伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業については、サケの稚魚放流イベント「第6回カムバック・縄文サーモン」が、4月9日に伊勢堂岱遺跡下の湯車川で行われ、ジュニアボランティアガイドをはじめ、地元の方々やボランティア30人が参加し、サケの稚魚3万匹を放流しました。

国指定史跡伊勢堂岱遺跡のガイダンス施設、伊勢堂岱縄文館が完成し4月23日に竣工式を行いました。竣工式後はオープン記念として23日24日の展示室観覧料を無料として一般公開し、2日間で1,089人が見学に訪れました。これに併せ、見学環境整備工事のため一般公開を休止しておりました遺跡も4年ぶりに一般公開をしました。

5月5日には、縄文館オープン記念イベントとして、縄文館脇の土舞台を会場に、唱歌を歌う会など3団体50人の出演による『縄文音楽祭』が行われ、約100人の来場者が音楽で縄文を感じるひと時を楽しみました。

<スポーツ振興課>

4月23日に第54回河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会が北秋田市役所本庁舎前をスタート・ゴールとするコースで開催されました。当日は次第に曇り空となり、風も強く肌寒い天候でしたが、市内外より小学生から一般までの147名が参加し、家族や仲間からの熱い声援を受け健脚を競い合いました。

チャレンジデー2016 に今年度も参加しました。対戦市は島根県雲南市、鹿児島県南さつま市との三つ巴の戦いとなりました。5月9日には、インターネットテレビ電話を使用し、3市長同時にエール交換を行いました。5月25日の参加率は、北秋田市55.6%で2年連続の金メダル獲得目標を達成し、結果は雲南市55.4%、南さつま市68.3%で対戦成績は1勝1負となりました。

今年度は、初の試みとして対戦市と特産品の交換を行い、それぞれのPR活動として市民を対象とした抽選会を行いました。

指定管理者制度を導入している北秋田市民プール及び北秋田市営薬師山スキー場の平成27年度の利用者は、プールが32,333人、トレーニングルームが19,872人、スキー場が5,903人でした。スキー場については、降雪量が少なかったことから営業期間が短く、利用者が減少しました。